

〈授業改善推進プラン 国語科 1年〉

1. 国語科の目指す「わかる」から「できる」の授業

- ①内容の中心を明確に書ける
- ②文学作品の内容を読み取れる

2. 日常の学習状況について

〈授業観察〉

- ①内容の中心を明確に捉えることができない。
- ②事象や行為、心情を表す語句を読み取ることができない。

〈考査分析〉

- ①内容の中心を明確に捉えて書くことができる。
- ②事象や行為、心情を表す語句を読み取ることができる。

〈生徒の自己評価〉

- ①②自分の考えを発表する時に役立つ文章を書きたい。

3. 村学力調査の結果について

〈学習活動〉

- クロスワードなど、言葉を使ったパズルで遊ぶことがある。
- 新聞記事などを、自分の考えと比べながら読んでいる。

〈学力調査〉

- 内容の中心を明確に書く
- 文学作品の内容を読み取る

- ・・・目標値を下回っている内容
- ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容

4. 学習の課題・問題点について

- ①内容の中心を明確に書く力の育成
- ②文学作品の内容を読み取る力の育成

5. 授業改善策

- ①行事の案内や報告の文章を分割し、段落の役割を意識して文章の校正や展開を考慮することができるように指導する。
- ②事象や行為、心情を表す語句を描画や映像を用いて視覚的に理解させ、語感を磨く。

6. 評価（年度末）

- ①学芸会の案内を作成し、段落の役割を意識して書かせることができた。
- ②描画から心情を表す語句を表現する力が身に付いた。

〈授業改善推進プラン 国語科 2年〉

<p>1. 国語科の目指す「わかる」から「できる」の授業</p> <p>①漢字を読み取る力の育成</p> <p>②我が国の言語文化に関する事項の育成</p>	
<p>2. 日常の学習状況について</p> <p>〈授業観察〉</p> <p>①漢字を読み取る力に課題がある。</p> <p>②我が国の言語文化に関する事項の習得に課題がある。</p> <p>〈考查分析〉</p> <p>①漢字を読み取ることができる。</p> <p>②我が国の言語文化に関する事項を習得している。</p> <p>〈生徒の自己評価〉</p> <p>①漢字を読み書きする力を身に付けたい。</p> <p>②手紙を書けるようになりたい。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について</p> <p>〈学習活動〉</p> <p>○クロスワードなど、言葉を使ったパズルで遊ぶことがある。</p> <p>○新聞記事などを、自分の考えと比べながら読んでいる。</p> <p>〈学力調査〉</p> <p>○漢字を読み取る力</p> <p>○我が国の言語文化に関する事項</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容</p> <p>☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について</p> <p>①漢字を読み取る力の育成</p> <p>②我が国の言語文化に関する事項の育成</p>	
<p>5. 授業改善策</p> <p>①漢字の部分に視覚的に着目させ、漢字テストの計画的な実施を通して読み取る力の定着を図る。</p> <p>②音声や映像メディアを活用して作品を読み、古典に表れたものの見方や考え方を理解させる。</p>	<p>6. 評価（年度末）</p> <p>①漢字テストの振り返りで漢字の部分から読み取る力を定着させることができた。</p> <p>②音声表現から古典の登場人物のものの見方を理解させることができた。</p>

〈授業改善推進プラン 国語科 3年〉

<p>1. 国語科の目指す「わかる」から「できる」の授業</p> <p>①言葉の使い方に関する事項の育成</p> <p>②文や文章に関する事項の育成</p>	
<p>2. 日常の学習状況について</p> <p>〈授業観察〉</p> <p>①言葉の使い方に関する事項に課題がある。</p> <p>②文や文章に関する事項に課題がある。</p> <p>〈考查分析〉</p> <p>①言葉の使い方に関する事項が身に付いている。</p> <p>②文や文章に関する事項が身に付いている。</p> <p>〈生徒の自己評価〉</p> <p>①日本語を話す力を身に付けたい。</p> <p>②文章を書く力を身に付けたい。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について</p> <p>〈学習活動〉</p> <p>○クロスワードなど、言葉を使ったパズルで遊ぶことがある。</p> <p>○新聞記事などを、自分の考えと比べながら読んでいる。</p> <p>〈学力調査〉</p> <p>○言葉の使い方に関する事項</p> <p>○文や文章に関する事項</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容</p> <p>☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について</p> <p>①言葉の使い方に関する事項の育成</p> <p>②文や文章に関する事項の育成</p>	
<p>5. 授業改善策</p> <p>①敬語など相手や場に応じた言葉遣いを実演し、社会生活で適切に使えるよう指導する。</p> <p>②文の成分や構成について、日常の会話文を通して文脈の中での働きを理解させ、文章の中で使うことができるように指導する。</p>	<p>6. 評価（年度末）</p> <p>①敬語の実演で社会生活で適切に敬語を使う力を身に付けさせることができた。</p> <p>②日常の会話文で文の成分の特徴を理解して文章の中で表現する力が身に付いた。</p>

〈授業改善推進プラン 社会科 1年〉

<p>1. 社会科の目指す「わかる」から「できる」の授業</p> <p>基礎的知識を活用して各単元でまとめ学習を行う。その際にはグループ内での対話的な活動をより多く設ける。</p>	
<p>2. 日常の学習状況について</p> <p>〈授業観察〉</p> <p>全体的に高い意欲で授業に臨んでいる。</p> <p>〈考査分析〉</p> <p>問いに対して文章で表現することを苦手としている。</p> <p>〈生徒の自己評価〉</p> <p>世界地理で習得した知識を今後の人生に活かしたいという思いがある。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について</p> <p>〈学習活動〉</p> <p>☆自らの考えを発表する力 表現力</p> <p>〈学力調査〉</p> <p>○安土・桃山時代、江戸時代における歴史的事象の知識理解</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容</p> <p>☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について</p> <p>①思考・判断・表現力の育成</p> <p>②地球的規模から物事を考える視点</p>	
<p>5. 授業改善策</p> <p>①各単元のまとめ学習として、グループ内での対話的な活動をより多く設けることとする。また、その考えを統合し、まとめ、発表に繋げることができる指導時間を授業内で確保する。</p> <p>②指導者がESDへの見識を深めることを基礎に、地球規模の問題と地域社会の発展が関連付けできるような授業を、計画し実施する。</p>	<p>6. 評価（年度末）</p> <p>①改善策を反映した授業を実施した。対話的な活動では、自身の考えを他者に表明できるようになってきた。次年度は、「多角的な視点を踏まえた、根拠に基づく文章記述の技術」をより高めることができる授業を構想する。</p> <p>②改善策を反映した授業を実施した。地球規模の課題解決の視点が、生徒のワークシートの記述内容から伺うことができた。次年度も授業者自身がESDに関する見識をさらに深め、よりよい授業をつくりあげていく。</p>

〈授業改善推進プラン 社会科 2年〉

1. 社会科の目指す「わかる」から「できる」の授業

基礎的知識を活用して各単元でまとめ学習を行う。その際にはグループ内での対話的な活動をより多く設ける。

2. 日常の学習状況について

〈授業観察〉

全体的に高い意欲で授業に臨んでいる。

〈考査分析〉

問いに対して文章で表現することを苦手としている。

〈生徒の自己評価〉

授業で習得した知識を今後社会時事と関連付けて深めたいと考えている。

3. 村学力調査の結果について

〈学習活動〉

☆自らの考えを発表する力 表現力

〈学力調査〉

○地理的分野

「地球の姿をとらえる」「世界の地域構成」地球における基礎知識

○・・・目標値を下回っている内容

☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容

4. 学習の課題・問題点について

①思考・判断・表現力の育成

②地球的規模から物事を考える視点

5. 授業改善策

①各単元のまとめ学習として、グループ内での対話的な活動をより多く設けることとする。また、その考えを統合し、まとめ、発表に繋げることができる指導時間を授業内で確保する。

②指導者がESDへの見識を深めることを基礎に、地球規模の問題と地域社会の発展が関連付けできるような授業を、計画し実施する。

6. 評価（年度末）

①改善策を反映した授業を実施した。その中で、自身の意見を表明したり、各々の考えを統合して一つにまとめたりする力を育むことができた。次年度は、「多角的な視点を踏まえた、根拠に基づく文章記述の技術」をより高めることができる授業を構想する。

②改善策を反映した授業を実施した。地球規模の課題解決の視点が、生徒のワークシートの記述内容から伺うことができた。次年度も授業者自身がESDに関する見識をさらに深め、よりよい授業をつくりあげていく。

〈授業改善推進プラン 社会科 3年〉

1. 社会科の目指す「わかる」から「できる」の授業 基礎的知識を活用して各単元でまとめ学習を行う。その際にはグループ内での対話的な活動をより多く設ける。	
2. 日常の学習状況について 〈授業観察〉 対話活動に対する意欲が高いので、今後は内容の充実を図りたい。 〈考査分析〉 問いに対して文章で表現することを苦手としている。 〈生徒の自己評価〉 表現力を問われる考査問題を苦手としている。（克服したいという思いもある）	3. 村学力調査の結果について 〈学習活動〉 多角的な視点に乏しいため、それを補う資料を提示すると、学習意欲が向上する。 〈学力調査〉 ○地理的分野「身近な地域の調査」 調査やまとめる技術の手法 ○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容
4. 学習の課題・問題点について ①思考・判断・表現力の育成 ②地球的規模から物事を考える視点	
5. 授業改善策 ①各単元のまとめ学習として、グループ内での対話的な活動をより多く設けることとする。また、その考えを統合し、まとめ、発表に繋げることができる指導時間を授業内で確保する。 ②指導者がESDへの見識を深めることを基礎に、地球規模の問題と地域社会の発展が関連付けできるような授業を、計画し実施する。	6. 評価（年度末） ①改善策を反映した授業を実施した。その中で、自身の意見を表明したり、各々の考えを統合して一つにまとめたりする力を育むことができた。また、一つの事象に対する多角的な視点からの見方については、特に公民科の学習を通して身に付けることができた。 ②改善策を反映した授業を実施した。地球規模の課題解決の視点が、生徒のワークシートの記述内容や発言から伺うことができた。次年度も授業者自身がESDに関する見識をさらに深め、よりよい授業をつくりあげていくこととする。

〈授業改善推進プラン 数学科 1年〉

<p>1. 数学科の目指す「わかる」から「できる」の授業 その日の授業だけでなく、理解の定着がみられ、問題解決ができる授業</p>	
<p>2. 日常の学習状況について 〈授業観察〉 積極的に発言や質問をしている。また板書はノートにしっかり写している。</p> <p>〈考査分析〉 授業の際には理解が見られ、積極的に発言を行うが、考査になると忘れている。</p> <p>〈生徒の自己評価〉 授業への態度や意欲は全体的に高いが、理解に関しては応用的な内容に自信がない。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について 〈学習活動〉 授業への参加意欲はあるものの、予習や復習を行っていない。</p> <p>〈学力調査〉 ○百分率、割合や分数など基礎基本的な問題 ☆場合の数</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について</p> <p>①百分率、割合や分数など基礎基本的な知識の定着 ②基礎基本的な知識や技能を活用し、表現をする力 ③グラフなど資料を読み取る力。</p>	
<p>5. 授業改善策</p> <p>①毎授業において小テストや復習プリントを用いて繰り返し練習を行う。また定期的には放課後補習を行い、復習を行っている。</p> <p>②単元ごとに班活動や発表を取り入れ、表現活動の場を増やす。また表現活動の際には本時の流れを板書して、視覚的に分かりやすいようにして、表現活動をスムーズに行えるよう支援する。</p> <p>③グラフなどの資料から値や数量を読み取った後に、生徒同士で共有する場を設け、考え方を深める指導をする。</p>	<p>6. 評価（年度末）</p> <p>①復習プリント等を用いた演習により基礎基本的な知識や計算技能の定着・向上が図れた。</p> <p>②表現活動を多く取り入れ、筋道を立てて表現する力が身に付いた。</p> <p>③考えを共有することで多角的な視点から考えていけるようになった。</p>

〈授業改善推進プラン 数学科 2年〉

<p>1. 数学科の目指す「わかる」から「できる」の授業 その日の授業だけでなく、理解の定着がみられ、問題解決ができる授業</p>	
<p>2. 日常の学習状況について</p> <p>〈授業観察〉 積極的に発言や質問をしている。また板書はノートにしっかり写している。</p> <p>〈考査分析〉 授業の際には理解が見られ、積極的に発言を行うが、考査になると忘れている。</p> <p>〈生徒の自己評価〉 授業への態度や意欲は全体的に高いが、理解に関しては応用的な内容に自信がない。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について</p> <p>〈学習活動〉 授業への参加意欲はあるものの、予習や復習を行っていない。</p> <p>〈学力調査〉 ○関数 ☆数量を文字で表す</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について</p> <p>①関数などの基礎基本的な知識の定着、技能の向上 ②基礎基本的な知識や技能を活用し、表現をする力</p>	
<p>5. 授業改善策</p> <p>①毎授業において小テストや復習プリントを用いて繰り返し練習を行う。また定期的な放課後補習を行い、復習を行っている。 ②单元ごとに班活動や発表を取り入れ、表現活動の場を増やす。また表現活動の際には本時の流れを板書して視覚的に分かりやすいようにして、表現活動をスムーズに行えるよう支援する。</p>	<p>6. 評価（年度末）</p> <p>①復習プリント等を用いた演習により基礎基本的な知識や計算技能の定着・向上が図れた。 ②表現活動を多く取り入れ、筋道を立てて表現する力が身に付いた。</p>

〈授業改善推進プラン 数学科 3年〉

<p>1. 数学科の目指す「わかる」から「できる」の授業 その日の授業だけでなく、理解の定着がみられ、問題解決ができる授業</p>	
<p>2. 日常の学習状況について</p> <p>〈授業観察〉 積極的に発言や質問をしている。また板書はノートにしっかり写している。</p> <p>〈考查分析〉 授業の際には理解が見られ、積極的に発言を行うが、考查になると忘れている。</p> <p>〈生徒の自己評価〉 授業への態度や意欲は全体的に高いが、理解に関しては応用的な内容に自信がない。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について</p> <p>〈学習活動〉 授業への参加意欲はあるものの、予習や復習を行っていない。</p> <p>〈学力調査〉 ○証明 ☆等式変形</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について</p> <p>①問題文から証明や立式など順序立てて表現していく技能。 ②基礎基本的な知識や技能を活用し、表現をする力。</p>	
<p>5. 授業改善策</p> <p>①毎授業において小テストや復習プリントを用いて繰り返し練習を行う。また定期的に放課後補習を行い、復習を行っていく。</p> <p>②单元ごとに班活動や発表を取り入れ、表現活動の場を増やす。また表現活動の際には本時の流れを板書して視覚的に分かりやすいようにして、表現活動をスムーズに行えるよう支援する。</p>	<p>6. 評価（年度末）</p> <p>①復習プリント等を用いた演習により基礎基本的な知識や計算技能の定着・向上が図れた。 ②表現活動を多く取り入れ、筋道を立てて表現する力が身に付いた。</p>

〈授業改善推進プラン 理科 1年〉

<p>1. 理科科の目指す「わかる」から「できる」の授業 基礎的基本的な知識、技能を繰り返し確認することで定着させる授業</p>	
<p>2. 日常の学習状況について 〈授業観察〉 全体的に高い意欲で授業に臨んでいる。</p> <p>〈考査分析〉 ①基礎的基本的な知識、技能を用いて、表現する問題が苦手である。 ②題意の読み間違いが多い。</p> <p>〈生徒の自己評価〉 既習事項との繋がりを意識して取り組んでいる。他教科との関連性を高めたい。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について 〈学習活動〉 授業への参加意欲は高いが、予習や復習を行っていない。</p> <p>〈学力調査〉 ○植物のからだのつくりとはたらき ○生物と環境 ○大地のつくりと変化</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について ①地学領域における思考・判断・表現力の育成。 ②個に応じた学習指導。</p>	
<p>5. 授業改善策 ①文章、図、グラフの分析・解釈をグループ内の対話的な活動をより多く設け、生徒の思考・判断・表現する時間を保障する。地表で起きる現象の根底には長い年月、地球内部の変化があり、物質が大きなスケールで循環していることを実感させる指導をする。 ②「ミライシード」に取り組み、学習内容のつまずきを確認することで、自分自身の学習を調整する場を設ける。</p>	<p>6. 評価（年度末） ①文章、図、グラフの分析・解釈をグループ内の対話的な活動を設けたことで、地学分野特有視点で、物質や時間のスケールを捉え、考えを深めることができた。 ②「ミライシード」に取り組み、学習内容のつまずきを確認することで、自分自身の学習を調整することができた。</p>

〈授業改善推進プラン 理科 2年〉

<p>1. 理科科の目指す「わかる」から「できる」の授業 基礎的基本的な知識、技能を繰り返し確認することで定着させる授業</p>	
<p>2. 日常の学習状況について 〈授業観察〉 全体的に高い意欲で授業に臨んでいる。</p> <p>〈考査分析〉 ①基礎的基本的な知識、技能を用いて、表現する問題が苦手である。 ②題意の読み間違いが多い。</p> <p>〈生徒の自己評価〉 既習事項との繋がりを意識して取り組んでいる。他教科との関連性を高めたい。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について 〈学習活動〉 授業への参加意欲は高いが、予習や復習を行っていない。</p> <p>〈学力調査〉 ○気体の性質 ○水溶液の性質 ○生命領域 ○自然現象についての知識・理解</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について ①学習課題に対する科学的な思考・判断・表現力の育成。 ②個に応じた学習指導。</p>	
<p>5. 授業改善策 ①実験・観察の結果から、条件を比べて考え、表現できるように、グループで話し合う時間をより多く設ける。文章問題から読み取り、整理し、問題を解く活動を取り入れ、文章読解力、表現力を高められるように支援する。 ②「ミライシード」に取り組み、学習内容のつまずきを確認することで、自分自身の学習を調整する場を設ける。</p>	<p>6. 評価（年度末） ①グループ活動を通して、実験・観察の結果から、条件を比べて考え、表現する力を伸ばすことができた。 ②「ミライシード」に取り組み、学習内容のつまずきを確認することで、自分自身の学習を調整することができた。</p>

〈授業改善推進プラン 理科 3年〉

<p>1. 理科科の目指す「わかる」から「できる」の授業 基礎的基本的な知識、技能を繰り返し確認することで定着させる授業</p>	
<p>2. 日常の学習状況について 〈授業観察〉 全体的に高い意欲で授業に臨んでいる。</p> <p>〈考查分析〉 ①基礎的基本的な知識、技能を用いて、表現する問題が苦手である。 ②題意の読み間違いが多い。</p> <p>〈生徒の自己評価〉 既習事項との繋がりを意識して取り組んでいる。他教科との関連性を高めたい。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について 〈学習活動〉 授業への参加意欲は高いが、予習や復習を行っていない。</p> <p>〈学力調査〉 ○電流と磁界 ○電流の性質 ○エネルギー領域 ○観察・実験の技能</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について ①エネルギー領域、地球領域の科学的な思考・判断・表現力の育成。 ②個に応じた学習指導。</p>	
<p>5. 授業改善策 ①問題演習を多く取り入れ、個別・グループ・個別のサイクルで取り組ませ、考える時間を十分に保障する。文章問題から読み取り、整理し、問題を解く活動を取り入れ、文章読解力、表現力を高められるように支援する。 ②「ミライシード」に取り組み、学習内容のつまづきを確認することで、自分自身の学習を調整する場を設ける。</p>	<p>6. 評価（年度末） ①文章問題から読み取り、整理することを個別支援しながら演習し、問題読解力を伸ばすことができた。 ②「ミライシード」に取り組み、学習内容のつまづきを確認することで、自分自身の学習を調整することができた。</p>

〈授業改善推進プラン 音楽科 1年〉

<p>1. 音楽科の目指す「わかる」から「できる」の授業</p> <p>思いや意図のない演奏などのつまづきを解消し、多様な思想や創意工夫を生かした題材の構成を工夫する授業</p>	
<p>2. 日常の学習状況について</p> <p>〈授業観察〉</p> <p>多様な音楽に関心をもち、創意工夫を生かした活動ができている。</p> <p>〈考査分析〉</p> <p>資料を読み取って記述する問題での、根拠を示して書く力に課題がある。</p> <p>〈生徒の自己評価〉</p> <p>工夫した点を正確に記述している。音楽への意欲が高い。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について</p> <p>〈学習活動〉</p> <p>実技教科のため学力調査はない。</p> <p>〈学力調査〉</p> <p>実技教科のため学力調査はない。</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について</p> <p>①音楽のよさや美しさを根拠をもって論じる力を育成する。 ②音の重なりや組み合わせの変化を感受し活用する力を育成する。</p>	
<p>5. 授業改善策</p> <p>①文章資料や音資料を読み取るポイントを図や板書で示し、手がかりを視覚的に把握できるようにする。 ②音の組み合わせを試行錯誤する時間を設け、音の変化や特徴について個の作品に応じた指導をする。</p>	<p>6. 評価（年度末）</p> <p>①板書や図による視覚化は、音楽情報の把握に有効だった。次年度は、相互評価の機会を充実させる。 ②個に応じた指導によって、作品に対する見方・考え方を広げることができた。</p>

〈授業改善推進プラン 音楽科 2年〉

<p>1. 音楽科の目指す「わかる」から「できる」の授業</p> <p>思いや意図のない演奏などのつまずきを解消し、多様な思想や創意工夫を生かした題材の構成を工夫する授業</p>	
<p>2. 日常の学習状況について</p> <p>〈授業観察〉</p> <p>器楽への意欲が高い。学級で協力して取り組む雰囲気がある。</p> <p>〈考査分析〉</p> <p>資料を読み解く問題では、音楽的な解釈が不十分である。</p> <p>〈生徒の自己評価〉</p> <p>音楽の面白さを捉えて活動できている。一方、音楽文化への理解が不十分である。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について</p> <p>〈学習活動〉</p> <p>実技教科のため学力調査はない。</p> <p>〈学力調査〉</p> <p>実技教科のため学力調査はない。</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について</p> <p>①曲想に応じた言葉の発音を身に付ける。 ②音楽文化を考察し、表現する力を身に付ける。</p>	
<p>5. 授業改善策</p> <p>①発音のポイントを考え、図や表でまとめる活動を行う。 ②鑑賞の基礎的・基本的な要素を図やワークシートで提示し、生徒が着目した音楽の要素に応じた課題を設定する。</p>	<p>6. 評価（年度末）</p> <p>①個に応じた課題の設定は、音楽表現の探求に有効であった。次年度は、ICT端末を活用して教科横断的な思考力を育む。 ②視覚化によって、音楽的な見方・考え方を広げることができた。</p>

〈授業改善推進プラン 音楽科 3年〉

<p>1. 音楽科の目指す「わかる」から「できる」の授業</p> <p>思いや意図のない演奏などのつまずきを解消し、多様な思想や創意工夫を生かした題材の構成を工夫する授業</p>	
<p>2. 日常の学習状況について</p> <p>〈授業観察〉</p> <p>積極的に活動し、多様な音楽文化や思想を味わいながら学習している。</p> <p>〈考査分析〉</p> <p>基礎的な語句や表現力の定着が課題である。</p> <p>〈生徒の自己評価〉</p> <p>多様な音楽を比較しながら、感受性を高めている。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について</p> <p>〈学習活動〉</p> <p>実技教科のため学力調査はない。</p> <p>〈学力調査〉</p> <p>実技教科のため学力調査はない。</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容</p> <p>☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について</p> <p>①基礎的・基本的な技能を生かした表現力を育成する。</p> <p>②新しい価値を創造する力を育成する。</p>	
<p>5. 授業改善策</p> <p>①表現の手法を映像や範奏で視覚的に示す。</p> <p>②現代音楽の手法を取り入れ、一人一人が作品の価値と向かい合っって学習し、個人のつまずきをグループ課題や相互評価で解消できるようにする。</p>	<p>6. 評価（年度末）</p> <p>①映像や範奏を取り入れ、グループ課題を行ったことによって、表現力が向上した。</p> <p>②相互評価によって、音楽的な批評力が高まり、音楽的な見方・考え方を広げることができた。</p>

〈授業改善推進プラン 美術科 1年〉

<h3>1. 美術科の目指す「わかる」から「できる」の授業</h3> <p>前期授業評価アンケートの結果から、授業への意欲や関心が高いことがわかっている。また、少人数学級の特性を生かした個に応じたきめ細かい指導や定期考査やポートフォリオ、作品などからすでに「できる」授業が達成されていると考えられる。今後は、より高度に授業理解を深めさせる授業設計を美術大学や美術館との連携授業の推進により達成していく。</p>	
<h3>2. 日常の学習状況について</h3> <p>〈授業観察〉 表現及び鑑賞の活動が〔共通事項〕に貫かれた授業設計をしているので、生徒が自然に造形的な見方・考え方を広めている。</p> <p>〈考査分析〉 思考・判断・表現に関する出題において、主題の生成や客観的に作品を批評する見方を定着させる必要がある。</p> <p>〈生徒の自己評価〉 美術科の学習におけるメタ認知能力を高めるために、パフォーマンス課題に取り組ませることで、主体的な学びを深められるようにしていく。</p>	<h3>3. 村学力調査の結果について</h3> <p>〈学習活動〉 実技教科のため学力調査はない。</p> <p>〈学力調査〉 実技教科のため学力調査はない。</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<h3>4. 学習の課題・問題点について</h3> <p>①発想や構想をしたことを見直したり修正を加えたりして、創意工夫をしながら循環的に高めていく態度。</p>	
<h3>5. 授業改善策</h3> <p>①学習過程の中で、よりよいものとして具体化していくことの大切さを学ばせ、いろいろ発想しながら構想を練り、思い切って挑戦してみる環境を整える。</p>	<h3>6. 評価（年度末）</h3> <p>①タブレット端末を活用し、自在に海外の美術館とつながることで、造形的な見方や感じ方を広げることができた。また、〔共通事項〕を授業内で意識させることで、造形的な知識が定着し、造形への見方・感じ方が深まった。</p>

〈授業改善推進プラン 美術科 2年〉

<h3>1. 美術科の目指す「わかる」から「できる」の授業</h3> <p>前期授業評価アンケートの結果から、授業への意欲や関心が高いことがわかっている。また、少人数学級の特性を生かした個に応じたきめ細かい指導や定期考査やポートフォリオ、作品などからすでに「できる」授業が達成されていると考えられる。今後は、より高度に授業理解を深めさせる授業設計を美術大学や美術館との連携授業の推進により達成していく。</p>	
<h3>2. 日常の学習状況について</h3> <h4>〈授業観察〉</h4> <p>表現及び鑑賞の活動が〔共通事項〕に貫かれた授業設計をしているので、生徒が自然に造形的な見方・考え方を深めている。</p> <h4>〈考査分析〉</h4> <p>思考・判断・表現に関する出題において、主題の生成や客観的に作品を批評する態度を深める必要がある。</p> <h4>〈生徒の自己評価〉</h4> <p>美術科の学習におけるメタ認知能力を高めるために、パフォーマンス課題に取り組ませることで、主体的な学びを深められるようにしていく。</p>	<h3>3. 村学力調査の結果について</h3> <h4>〈学習活動〉</h4> <p>実技教科のため学力調査はない。</p> <h4>〈学力調査〉</h4> <p>実技教科のため学力調査はない。</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<h3>4. 学習の課題・問題点について</h3> <p>①見方や感じ方をより深める態度。</p>	
<h3>5. 授業改善策</h3> <p>①単に美しさを直感的に感じ取らせるだけでなく、造形的な言語や既習事項を踏まえ、多様な観点から、対象や事象を感性と知性の両面を豊かに働かせて捉えられるように授業設計を行う。内地の美術大学や美術館との連携授業によって、社会と美術との関係についても深める。</p>	<h3>6. 評価（年度末）</h3> <p>①タブレット端末を活用し、自在に海外の美術館とつながることで、造形的な見方や感じ方を広げることができた。また、〔共通事項〕を授業内で意識させることで、造形的な知識がより高まり、造形への見方・感じ方を他教科の学びと統合させて深めることができた。</p>

〈授業改善推進プラン 美術科 3年〉

1. 美術科の目指す「わかる」から「できる」の授業

前期授業評価アンケートの結果から、授業への意欲や関心が高いことがわかっている。また、少人数学級の特性を生かした個に応じたきめ細かい指導や定期考査やポートフォリオ、作品などからすでに「できる」授業が達成されていると考えられる。今後は、より高度に授業理解を深めさせる授業設計を美術大学や美術館との連携授業の推進により達成していく。

2. 日常の学習状況について

〈授業観察〉

表現及び鑑賞の活動が〔共通事項〕に貫かれた授業設計をしているので、生徒が自然に造形的な見方・考え方を深めている。

〈考査分析〉

思考・判断・表現に関する出題において、主題の生成や客観的に作品を批評する態度をより深める必要がある。

〈生徒の自己評価〉

美術科の学習におけるメタ認知能力を高めるために、パフォーマンス課題に取り組ませることで、主体的な学びを深められるようにしていく。

3. 村学力調査の結果について

〈学習活動〉

実技教科のため学力調査はない。

〈学力調査〉

実技教科のため学力調査はない。

○・・・目標値を下回っている内容

☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容

4. 学習の課題・問題点について

①他者と異なった見方や感じ方を尊重する雰囲気高め、多様な見方や感じ方をより深める態度。

5. 授業改善策

①造形的な言語や既習事項を踏まえ、多様な観点から、対象や事象を感性と知性の両面を豊かに働かせて捉えられるように授業設計を行う。タブレット端末を効果的に活用したり、内地の美術大学や美術館との連携授業を行ったりして、社会と美術との関係についてもさらに深める。

6. 評価（年度末）

①タブレット端末を活用し、学習記録を蓄積し、振り返ることで、〔共通事項〕を意識した表現及び鑑賞の活動になった。造形への見方・感じ方を他教科の学びと統合させて深めることができ、生活での経験を学習へ生かすことができた。

〈授業改善推進プラン 技術科 1年〉

1. 技術科の目指す「わかる」から「できる」の授業

科学的認識の「わかる」と技能の「できる」が身に付く授業

2. 日常の学習状況について

〈授業観察〉

課題によく取り組む。知識の定着をさらに深める。

〈考査分析〉

思考力・判断力の問題に苦手意識がある。一方で、表現への意欲は旺盛である。

〈生徒の自己評価〉

興味・関心の高さと比較すると、学習内容の知識的理解が物足りない。

3. 村学力調査の結果について

〈学習活動〉

実技教科のため学力調査はない。

〈学力調査〉

実技教科のため学力調査はない。

○・・・目標値を下回っている内容

☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容

4. 学習の課題・問題点について

①材料の加工に関する技術についての知識・技能を身に付けるための指導

5. 授業改善策

①授業冒頭で学習内容の定着を把握するための小テストを実施したり、次時の学習内容をワークやプリントで予習させ、授業内で確認する。定着していない学習内容を把握し、すぐに指導をできる環境を整える。

6. 評価（年度末）

①タブレット端末で授業の記録を取ったうえで振り返りを行い、知識・技能の定着が進んだ。

〈授業改善推進プラン 技術科 2年〉

1. 技術科の目指す「わかる」から「できる」の授業

科学的認識の「わかる」と技能の「できる」が身に付く授業

2. 日常の学習状況について

〈授業観察〉

課題への取り組みは前向きで特に表現力への意識が高い。

〈考査分析〉

比較したり分析したりする考察が苦手である。考えをまとめることは得意である。

〈生徒の自己評価〉

既習事項との繋がりを意識して取り組んでいる。

3. 村学力調査の結果について

〈学習活動〉

実技教科のため学力調査はない。

〈学力調査〉

実技教科のため学力調査はない。

○・・・目標値を下回っている内容

☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容

4. 学習の課題・問題点について

実践を通じた指導の充実

5. 授業改善策

理科の既習事項を踏まえ、エネルギー変換の知識・技能を活用した技術の活用を実践する。基盤に電子部品を実装し、電気エネルギーの利用がどのように行われているのか、実感として捉えられるようにする。

6. 評価（年度末）

タブレット端末を活用し、電子部品や電気回路についてのシミュレーションを行い、実感を伴った理解につながった。

〈授業改善推進プラン 技術科 3年〉

1. 技術科の目指す「わかる」から「できる」の授業

科学的認識の「わかる」と技能の「できる」が身に付く授業

2. 日常の学習状況について

〈授業観察〉

既習項目を意識した課題解決を行うことができる。

〈考査分析〉

グループ学習は得意だが、一人で深く考えることは苦手である。

〈生徒の自己評価〉

ICT機器の特性を把握して取り扱うことが苦手だと感じている生徒がいる。

3. 村学力調査の結果について

〈学習活動〉

実技教科のため学力調査はない。

〈学力調査〉

実技教科のため学力調査はない。

○・・・目標値を下回っている内容

☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容

4. 学習の課題・問題点について

4分野の既習事項が統合することで、生活が便利で豊かになっていく実感を得るとともに、職業観を育成する。

5. 授業改善策

マイコンボードを使用し、プログラミング言語を活用して生物育成を計画的に実践することを通して、縦割りであった学習内容を横断的に統合する。このことで、物事を多様な視点から技術の関わり合いを想像させ、実社会の見方を深める。

6. 評価（年度末）

タブレット端末を活用した授業の記録を取ることを通して、学習内容の横断を感じ取れるようになった。

〈授業改善推進プラン 家庭科 1年〉

<p>1. 家庭科の目指す「わかる」から「できる」の授業 家庭科の必要性や楽しさが「わかる」と日常的に「できる」が身に付く授業</p>	
<p>2. 日常の学習状況について</p> <p>〈授業観察〉 積極的な発言や質問が見られ、意欲的に授業に参加している。</p> <p>〈考査分析〉 知識的理解や相手に伝わるように表現することを苦手としている。</p> <p>〈生徒の自己評価〉 授業で習得した内容を生活に生かしたいという意欲が高い。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について</p> <p>〈学習活動〉 実技教科のため学力調査はない。</p> <p>〈学力調査〉 実技教科のため学力調査はない。</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について</p> <p>①基礎的な知識の定着 ②既習事項を関連させながら、思考・判断・表現する力の育成</p>	
<p>5. 授業改善策</p> <p>①既習事項と関連させながら、授業初めにICT機器を活用した復習を導入し、確認する。</p> <p>②小学校の題材と比較しながら、内容を確認し、設定された課題に対して、自分の意見を発表したり、お互いに意見を交換する機会を設け、様々な視点から物事を考えられるような授業を展開する。</p>	<p>6. 評価（年度末）</p> <p>①授業の導入にスライドを使用し、クイズ形式を取り入れたり、ワークを活用したりして知識の定着を促すことができた。</p> <p>②自力解決の時間を設け、課題に対しての自身の考えを周りに共有し、理解を深めることができた。</p>

〈授業改善推進プラン 家庭科 2年〉

<p>1. 家庭科の目指す「わかる」から「できる」の授業 家庭科の必要性や楽しさが「わかる」と日常的に「できる」が身に付く授業</p>	
<p>2. 日常の学習状況について 〈授業観察〉 授業には意欲的に参加するが、家庭科の内容への関心意欲が低い。 〈考査分析〉 自分で考え、まとめる問題は得意だが、知識的理解が物足りない。 〈生徒の自己評価〉 授業で習得した内容を生活に生かしたいという意欲が高い。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について 〈学習活動〉 実技教科のため学力調査はない。 〈学力調査〉 実技教科のため学力調査はない。 ○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について 家庭科に対する興味関心を高める。</p>	
<p>5. 授業改善策 身近な題材や既習事項と関連させながら、ICT機器や視覚的な教材を用いて生徒がイメージを持って学習に取り組める授業を展開する。</p>	<p>6. 評価（年度末） 視覚教材を用いて、身近な題材を取り上げたり、既習事項と関連させた説明をしたりすることで生徒からの質問なども増え、興味関心を高めることができた。</p>

〈授業改善推進プラン 家庭科 3年〉

1. 家庭科の目指す「わかる」から「できる」の授業

家庭科の必要性や楽しさが「わかる」と日常的に「できる」が身に付く授業

2. 日常の学習状況について

〈授業観察〉

自己の生活を振り返り、積極的に授業に参加し、課題に取り組むことができる。

〈考査分析〉

基礎的な知識や理解を深める。

〈生徒の自己評価〉

授業で習得した内容を生活に生かしたいという意欲が高い。

3. 村学力調査の結果について

〈学習活動〉

実技教科のため学力調査はない。

〈学力調査〉

実技教科のため学力調査はない。

○・・・目標値を下回っている内容

☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容

4. 学習の課題・問題点について

題材への理解を深める。

5. 授業改善策

ICT機器を活用し、動画や写真を提示することで視覚的な教材を用いて、題材の具体的なイメージを掴み、実習や実践に生かせるようにする。

6. 評価（年度末）

視覚教材を活用したことで、生徒が具体的なイメージを掴み、積極的に実習に取り組むことができた。

〈授業改善推進プラン 保健体育 科 1年〉

1. 保健体育 科の目指す「わかる」から「できる」の授業
運動の楽しさや喜びを味わい、仲間と競争や協働できる授業。

2. 日常の学習状況について

〈授業観察〉

積極的に運動に取り組む生徒が多いが、つまづいた課題を繰り返し練習することが苦手である。

〈考査分析〉

瞬発力、全身持久力に課題がある。課題を発見し、表現することが苦手である。

〈生徒の自己評価〉

関心・意欲は高いが、運動有能感の高い生徒が少ない。

3. 村学力調査の結果について

〈学習活動〉

実技教科のため学力調査はない。

〈学力調査〉

実技教科のため学力調査はない。

○・・・目標値を下回っている内容

☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容

4. 学習の課題・問題点について

①基礎体力を向上する。

②課題について、思考・判断し、他者に伝える力の育成をする。

5. 授業改善策

①体力テストの結果より、自己に必要な体力についてデータを示す。目標を設定し、継続的に運動に取り組ませる。

②学習カードやICT機器を活用し、視覚的にわかりやすいようにするとともに、仲間と意見を交換する機会を設け、理解を深めさせる。

6. 評価（年度末）

①準備運動の際に補強運動を継続して行うことで、体力と技能を高めることができた。

②視覚的に技能のポイントを示すとともに、動画等で動きを確認させることで、仲間と意見を交換しながら学習を深めることができた。

〈授業改善推進プラン 保健体育 科 2年〉

1. 保健体育 科の目指す「わかる」から「できる」の授業
運動の楽しさや喜びを味わい、仲間と競争や協働できる授業。

2. 日常の学習状況について

〈授業観察〉

積極的に運動に取り組む生徒が多いが、つまづいた課題を繰り返し練習することが苦手である。

〈考查分析〉

瞬発力、全身持久力に課題がある。課題を発見し、表現することが苦手である。

〈生徒の自己評価〉

関心・意欲は高いが、運動有能感の高い生徒が少ない。

3. 村学力調査の結果について

〈学習活動〉

実技教科のため学力調査はない。

〈学力調査〉

実技教科のため学力調査はない。

○・・・目標値を下回っている内容

☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容

4. 学習の課題・問題点について

①基礎体力を向上する。

②課題について、思考・判断し、他者に伝える力の育成する。

5. 授業改善策

①体力テストの結果より、自己に必要な体力についてデータを示す。目標を設定し、継続的に運動に取り組ませる。

②学習カードやICT機器を活用し、視覚的にわかりやすいようにするとともに、仲間と意見を交換する機会を設け、理解を深めさせる。

6. 評価（年度末）

①準備運動の際に補強運動を継続して行うことで、体力と技能を高めることができた。

②視覚的に技能のポイントを示すとともに、動画等で動きを確認させることで、仲間と意見を交換しながら学習を深めることができた。

〈授業改善推進プラン 保健体育 科 3年〉

1. 保健体育 科の目指す「わかる」から「できる」の授業
運動の楽しさや喜びを味わい、仲間と競争や協働できる授業。

2. 日常の学習状況について

〈授業観察〉

積極的に運動に取り組む生徒が多いが、つまづいた課題を繰り返し練習することが苦手である。

〈考查分析〉

瞬発力、全身持久力に課題がある。課題を発見し、表現することが苦手である。

〈生徒の自己評価〉

関心・意欲は高いが、運動有能感の高い生徒が少ない。

3. 村学力調査の結果について

〈学習活動〉

実技教科のため学力調査はない。

〈学力調査〉

実技教科のため学力調査はない。

○・・・目標値を下回っている内容

☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容

4. 学習の課題・問題点について

①基礎体力を向上する。

②課題について、思考・判断し、他者に伝える力の育成する。

5. 授業改善策

①体力テストの結果より、自己に必要な体力についてデータを示す。目標を設定し、継続的に運動に取り組ませる。

②学習カードやICT機器を活用し、視覚的にわかりやすいようにするとともに、仲間と意見を交換する機会を設け、理解を深めさせる。

6. 評価（年度末）

①準備運動の際に補強運動を継続して行うことで、体力と技能を高めることができた。

②視覚的に技能のポイントを示すとともに、動画等で動きを確認させることで、仲間と意見を交換しながら学習を深めることができた。

〈授業改善推進プラン 英語科 1年〉

<p>1. 英語科の目指す「わかる」から「できる」の授業</p> <p>学習した言語材料を活用して、関心のある事柄や日常的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを伝える力が身に付く授業</p>	
<p>2. 日常の学習状況について</p> <p>〈授業観察〉</p> <p>知っている語句を用いながら、間違いを恐れず、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>〈考査分析〉</p> <p>基本的な語句を書く力に課題がみられる。それに伴い、「書くこと」における表現力に課題がみられる。</p> <p>〈生徒の自己評価〉</p> <p>学習した内容を活用して、海外の人と英語でコミュニケーションできるようになりたいという思いがある。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について</p> <p>〈学習活動〉</p> <p>自分のことを表現しようとする意欲は高いが、伝える内容を決めるまでに時間がかかることもある。</p> <p>〈学力調査〉</p> <p>○なし ☆英作文</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について</p> <p>①基本的な表現を確実に言えるように、書けるようにする。</p> <p>②伝えたい内容と英語の表現の両方を意識して文章を話したり、書いたりする。</p>	
<p>5. 授業改善策</p> <p>①モニターでフラッシュカードを提示したり、ペアで問題を出し合ったり、家庭学習で書く練習をしたり、同じ表現を様々な方法で練習する機会を設ける。</p> <p>②伝えたい内容を考える作業は各自のペースで取り組めるよう、家庭学習とし、授業では英語の表現に焦点を当てた活動を中心に行えるようにする。</p>	<p>6. 評価（年度末）</p> <p>①スプリングコンテストを実施することで、基本的な表現を身に付けるための意識付けができ、定着を促すことができた。次年度も継続して取り組みたい。</p> <p>②タブレットを活用して、伝えたい内容に関連する情報や表現方法を主体的に調べることができた。次年度は発表を聞いて質問したり、答えたりする活動も増やし、さらなるコミュニケーションの育成を目指す。</p>

〈授業改善推進プラン 英語科 2年〉

<h3>1. 英語科の目指す「わかる」から「できる」の授業</h3> <p>学習した言語材料を活用して、関心のある事柄や日常的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを伝える力が身に付く授業</p>	
<h3>2. 日常の学習状況について</h3> <p>〈授業観察〉 知っている語句を用いながら、間違いを恐れず、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>〈考査分析〉 基本的な語句を書く力に課題がみられる。それに伴い、「書くこと」における表現力に課題がみられる。</p> <p>〈生徒の自己評価〉 学習した内容を活用して、海外の人と英語でコミュニケーションできるようになりたいという思いがある。</p>	<h3>3. 村学力調査の結果について</h3> <p>〈学習活動〉 自分のことを表現しようとする意欲は高いが、伝える内容を決めるまでに時間がかかることがある。</p> <p>〈学力調査〉 ○語形・語法の知識・理解 ○長文の読み取り ○単語の並べかえによる英作文 ○場面に応じて書く英作文</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<h3>4. 学習の課題・問題点について</h3> <p>①外国の文化への理解と関心を高める。 ②基本的な表現を確実に言えるように、書けるようにする。</p>	
<h3>5. 授業改善策</h3> <p>①関連する視聴覚教材を提示したり、クイズを出題したりしたりして、ある程度の背景知識を得たうえで、題材の学習に入る。 ②ペアで学習する機会を設け、机間指導を通して、個別に暗記の仕方や学習方法をアドバイスする。</p>	<h3>6. 評価（年度末）</h3> <p>①外国の文化に関連した発表活動において、タブレットを活用して、伝えたい内容に関連する情報を主体的に調べることができた。次年度は発表を聞いて質問したり、答えたりする活動も増やし、さらなるコミュニケーションの育成を目指す。 ②スプリングコンテストを実施することで、基本的な表現を身に付けるための意識付けができ、定着を促すことができた。次年度も継続して取り組みたい。</p>

〈授業改善推進プラン 英語科 3年〉

<p>1. 英語科の目指す「わかる」から「できる」の授業</p> <p>学習した言語材料を活用して、日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを伝える力が身に付く授業</p>	
<p>2. 日常の学習状況について</p> <p>〈授業観察〉</p> <p>知っている語句を用いながら、間違いを恐れず、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>〈考查分析〉</p> <p>基本的な語句を書く力に課題がみられる。それに伴い、「書くこと」における表現力に課題がみられる。</p> <p>〈生徒の自己評価〉</p> <p>学習した内容を活用して、海外の人と英語でコミュニケーションできるようになりたいという思いがある。</p>	<p>3. 村学力調査の結果について</p> <p>〈学習活動〉</p> <p>導入の中で題材についての背景知識を提示すると、言語活動に必要な自身の考えを形成しやすくなる。</p> <p>〈学力調査〉</p> <p>○語形・語法の知識・理解 ○長文の読み取り ○場面に応じて書く英作文</p> <p>○・・・目標値を下回っている内容 ☆・・・目標値を上回っているが課題と考えられる内容</p>
<p>4. 学習の課題・問題点について</p> <p>①外国の文化への理解と関心を高める。 ②自分の意見を英語で即興で話す力を高める。</p>	
<p>5. 授業改善策</p> <p>①関連する視聴覚教材を提示したり、クイズを出題したりしたりして、ある程度の背景知識を得たうえで、題材の学習に入る。 ②同じテーマで、ペアを変えて繰り返し話す機会を設け、うまく言えなかった表現を全体で共有する。また、小規模学級の特性を生かし、教員が生徒1人ひとりと個別に会話する機会を設ける。</p>	<p>6. 評価（年度末）</p> <p>①外国の文化に関連した題材の導入において、ICT機器を活用して画像や映像を提示し、関心を高めることができた。 ②教科書で取り上げた題材に関して、自身の意見を述べ、やり取りを行うインタビューテストを実施することで、題材の学習を通して様々な事象に対する視野を広げることができた。</p>